

# 「プレミアムフライデー」の推進について

九州経済産業局  
総務課・流通サービス産業課  
(092-482-5455)

経済産業省では、「消費喚起」と「働き方改革」を柱とした官民連携の「プレミアムフライデー」を推進しています。本取組の趣旨についてご理解とご協力をお願い申し上げます。

## ■プレミアムフライデーとは

「プレミアムフライデー」とは、国民一人ひとりが、「特別な人（家族、友人など）」と、「特別な時間」を過ごすことで、生活における「豊かさ」「幸せ」につながる、充実感や満足感を感じることができる体験や時間を創出する取組

### 【実施方針】

### 「消費喚起」・「働き方改革」

- 実施時期：毎月月末金曜日（実施内容・方法は企業が任意に設定）
- 実施主体：主役は「国民」一人ひとり
- 対象地域・業種：全国各地で、業種横断的に実施
- 統一ロゴマーク：一体感をもって推進するために「プレミアムフライデー推進協議会」（平成28年12月12日設立）において、企業が自由に使用できる統一ロゴマークを作成。  
※ロゴマーク申請件数 全国：7,030 九州：452（平成29年5月12日時点）

## ■プレミアムフライデーの実施イメージ

- 個人が「プレミアム（豊かさ、満足感、楽しさ）」と感じる時間の過ごし方は、消費する商品・サービスの価格の高低に関わらず**多種多様**。
- 買物や家族との外食、観光やボランティアなど、**個人が「プレミアム」と感じるものに応じ、様々なサービスが提供されることを期待**。

### 【取組事例】

- 百貨店・スーパー：
  - ・地域の百貨店が連携した初の取組としてプレス発表を実施。
  - ・家庭でプレミアムな時間を演出する商品（ステーキ・ワイン等）を販売や、ワインに合うチーズについてのセミナーやネイルケアレッスン等、体験型のイベントを実施。
- 商業団体：
  - ・初回は個店ベースでの取組だったが、販売点数や客単価の増加を受け2回目以降は組織的に積極的なPR、プレゼント配付を行う等取組が拡大。
- 商店街：
  - ・牡蠣小屋やライブハウス、居酒屋では通常より早い15時から店を開け、特別メニューを提供。

《成果》普段以上のにぎわいとなり、客数や売上の増加に寄与



# 働き方改革の必要性

【プレミアムフライデー（早期退社）導入の背景】

**長時間労働** = 健康の確保だけでなく、仕事と家庭生活との両立を困難にし、少子化や、女性のキャリア形成、男性の家庭参加を阻む原因。

長時間労働を自慢するかのような風潮が蔓延・常識化している現状を変えていく

長時間労働を是正すれば、ワークライフバランスが改善し、女性や高齢者も仕事に就きやすくなり、労働参加率の向上に結びつく。経営者は、どのように働いてもらうかに関心を高め、単位時間（マンアワー）当たりの労働産性向上につながる。

※働き方改革実行計画（平成29年3月28日）より抜粋

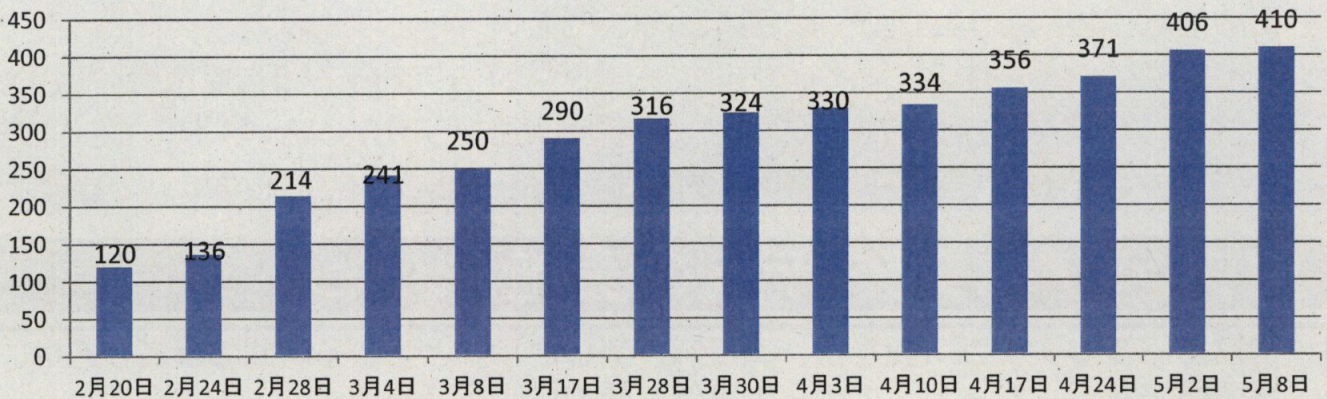
# 早期退社取組企業の内訳

○プレミアムフライデーに早期退社に取り組む企業は410社

第一回目から**3倍増以上に拡大**。

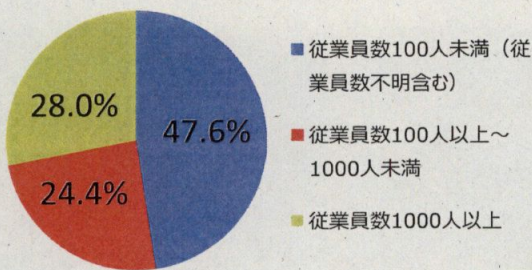
○従業員の規模別では、**従業員100人未満の企業が5割を占める**。

P F 導入企業の推移

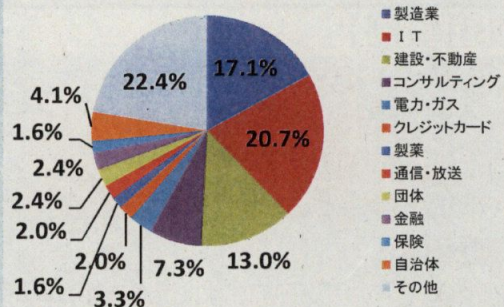


※経済産業省 流通政策課調べ

【早期退社取組企業の規模別内訳】



【早期退社取組企業の業種別内訳】



プレミアムフライデーを通じて生産性向上について考えるきっかけに